

○ 中学校再編と公立幼稚園、公立保育園を 取り巻く問題と議員の役割

富士根信子議員
市民の会代表



議 市長や教育長が、新中学校再編計画案の説明会で、勝山高校の敷地内に新中学校を建設することは決まったことだからと強硬に押し進める姿勢では、反対している市民は理解できない。

理 20年間検討を重ねてきた実績の中に単独中学校建設案と勝山高校の敷地内に新中学校建設案との比較検討した資料、校舎内外の環境、施設整備の内容、教育活動、登下校、スクールバス、部活動、給食など様々な面で比較検討された資料を市民への説明として公開してほしい。

理 再編計画については、昨年の3月議会に関連する予算が認められ、教育委員会で決定をしている。

中学校再編にあたっては、それまでの経緯を踏まえ、成器西小学校や中部中学校を活用する案、その後、1校再編案に加え、2校再編案も検討することとするなどの変遷を経て、平成30年に設置した勝山市立中学校再編検討委員会において、まず1校に再編統合が妥当であるとして、中部中学校敷地案の検討からスタートした。

様々な課題を検討する中で、勝山高校への併設案が提案され、中部中学校案よりも優れた点が多いと判断され、答申や現在の再編計画につながっている。

このような経緯で検討を積み上げながら進めてきたため、単独中学校建設案と勝山高校敷地案を比較検討した資料はないが、検討の具体的な経緯は、再編検討委員会の答申に記載されている。

議 市民の中には、市議会議員と話し合う機会がほしいとの声がある。

市民の会としては、より多くの市民の声を聞く機会をつくり、議員一人一人の考えを市民に説明し、公正性、透明性の保持に努め、市民の負担に応えなければならないと考えている。



○ 勝山市立幼稚園と保育園の、廃園と募集停止について ○ 中学校問題での、北郷、鹿谷、荒土地区の市民による市長と教育長への要望について

山田安信議員
日本共産党代表



その他の質問 ・岸田政権の「安保3文書」の閣議決定や「敵基地攻撃」等の、戦争国家づくりに反対することについて ・福島原発の汚染水を海に棄てながら、原発依存を再開するのは「無反省で無責任」ではないか ・政府の「異次元の子育て支援」は、「少子化を招いた原因」の解決策になるか

議 ①保護者等が存続を求め、議会も廃園を認めていないのに、市長と教育長は廃園と募集停止を強行するのか。議会が存続を求める陳情を採択しても強行するのか。

②入園希望がある限り存続するので、地域を守るためにがんばってほしいと、勝山市が全力で支えるべき。

③市立園を全部廃止し、民間事業者が経営危機で廃園したら、市はどうするのか。

理 ①陳情書が市議会に提出されたことは、重く受け止めているが、答申の趣旨は保護者から一定の理解が得られたと考えている。

②市立幼稚園・保育園それぞれのあり方検討委員会からの答申を踏まえ、現在の園児数が少ない状況を早急に解消することが必要だと判断した。このことは、保護者から一定の理解を得られていると考えている。

③諸事情による突然の廃園や休園にならないために、引き続き、各園の経営の現状把握や適切な保育環境のあり方も含めて、経営者である社会福祉法人や園長会等と継続的に話し合いを進めていく。

議 北郷、荒土、鹿谷の方々から署名が地域有権者の半数を超えたとして、計画凍結と再検討、設計費の執行停止が要望された。

①昨年7月の説明会や12月の市長と語る会、今年1月の保護者説明会でも、署名は昨年の1.5倍の6000人を超え、計画見直しの声は、質も量も大きくなっている。市長と教育長は、要望をどう受け止めているのか。

②荒土小で保護者がアンケートをされたことについて、どう思うか。

理 ①中学校の再編については、長い年月をかけて多くの方々が関わって検討を積み重ね、その中で方向性の変更も行いつつ、最終的に昨年策定した勝山市立中学校再編計画をもとに進めている。これまでの経緯の重みを踏まえ、引き続き、計画の実現に向けて努めていく。

②保護者がそうした行動をされたことは聞いている。それは、その保護者の考えでされたことであり、それについて言及することは特にない。